

2020.8

福田美術館
 嵯峨嵐山文華館

報道関係者各位

「悲運の画家たち」

企画展開催について

嵐山の福田美術館・嵯峨嵐山文華館が初めての共同開催

ゴッホやモディリアーニのように、悲運の人生を創作の糧に変え素晴らしい作品を生み出した画家が、日本にも沢山います。人々から多くの注文を受ける人気画家が、実は病に苦しみ、家族を失い、歯を食いしばって絵筆をとり続けていたという例は枚挙にいとまがありません。そのような画家たちの身に起きた「悲運」に焦点を当て作品に秘められたドラマに迫ります。本展は初の試みとして、同じ嵯峨嵐山に位置する「福田美術館」「嵯峨嵐山文華館」の二館共同で開催いたします。また福田美術館は開館1周年を迎えることから、所蔵品の中でも選りすぐりの作品を展示いたします。



尾竹國観「文姫帰漢」(右隻)

日時 2020年10月24日(土)～2021年1月11日(月・祝)
 10:00～17:00 (最終入館16:30)
 前期：10/24(土)～11/30(月)・後期：12/2(水)～1.11(月・祝)

休館 毎週火曜日 ※但し11/3(火)は開館、11/4(水)は休館。年末年始12/29(火)～1/1(金・祝)は休館

料金 <福田美術館> 一般・大学生 ¥1,300(1,200)/高校生 ¥700(600)/小中学生 ¥400(300)/障がい者と介添人1名まで ¥700(600)
 <嵯峨嵐山文華館> 一般・大学生 ¥900(800)/高校生 ¥500(400)/小中学生 ¥300(250)/障がい者と介添人1名まで ¥500(400)
 <二館共通券> 一般・大学生 ¥2,000/高校生 ¥1,000/小中学生 ¥550/障がい者と介添人1名まで ¥1,000

※()内は20名以上の団体

主催 福田美術館・嵯峨嵐山文華館・京都新聞
後援 京都府・京都市教育委員会・京都商工会議所

第一会場／福田美術館「逆境にも負けず」

第一会場となる福田美術館では、長沢芦雪、渡辺崋山、木島櫻谷や速水御舟など、名だたる画家の作品を展示。彼らは家族を亡くした悲しみや、病気や怪我の苦しみなど、悲しい経験に屈することなく絵筆をとり続けました。また、家族との別れの場面を描いた「文姫帰漢」や、大火事から逃げ惑う人々を描いた「久松町の大火図」など、悲劇的な場面を題材にした作品も取り上げます。

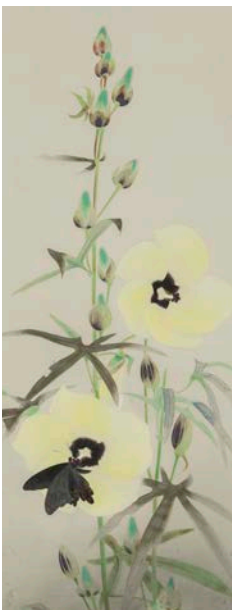


小林清親「久松町の大火図」

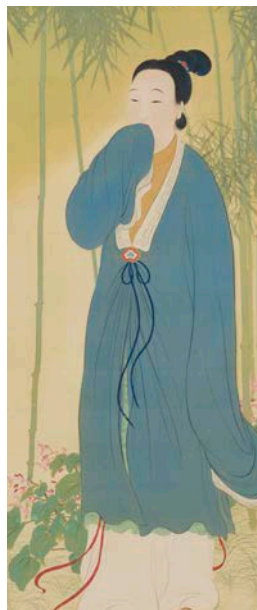
第1章：悲運の近代画家たち

ここでは、明治・大正・昭和時代に活躍した画家のうち、市電にひかれて左足を切断した速水御舟(1894-1935)、電車にはねられて命を落とした木島櫻谷(1877-1938)、最愛の女性を亡くした後も生涯制作に励んだ竹久夢二(1884-1934)ら、未曾有の悲劇に見舞われた画家たちが、悲しい体験の前後に制作した迫真の日本画をご紹介します。

また、赤子を由比ヶ浜に沈められた《静御前》(上村松園筆)、不義密通の疑いをかけられた《おさん》(鏑木清方筆)、大火事から逃げ惑う人々を描いた《久松町の大火図》(小林清親筆)など、悲劇のドラマを描いた作品も同時に取り上げます。様々な画家の手による異なる悲しみ、苦しみの表現をご覧いただければ幸いです。



速水御舟「露潤」



木島櫻谷「秋思」



上村松園「静御前」



竹久夢二
「紅衣扇舞」

第2章：悲運の近世画家たち

第2章では、父親とともに流罪になった深江芦舟(1699－1757)、毒殺説がある長沢芦雪(1754－1799)、流罪ののち切腹した渡辺崋山(1793－1841)など、江戸時代に不運な経験をした画家たちをご紹介します。

うち2点は重要文化財に指定されている作品となります。

普段とは少し違う角度から作品を鑑賞し、画家の人生を共有することが、作品の本質を見抜く鍵となるかもしれません。

パノラマギャラリーでは洋画作品も

パノラマギャラリーでは第1章に引き続き、速水御舟、川端龍子(1885－1966)といった日本の近代画家による額装作品を展示します。

また、幼少期から飲酒におぼれたというフランスの画家、モーリス・ユトリロ(1883－1955)の作品も展示し、芸術の都のフランス・パリで起こった画家の悲運を取り上げます。



長沢芦雪「薬玉図」



渡辺崋山「于公高門図」



モーリス・ユトリロ
「ヴェジネのサント・ポーリーヌ」



速水御舟「デッド・シティ」



竹久夢二「青春譜」

展覧会担当学芸員：阿部亜紀・岡田秀之

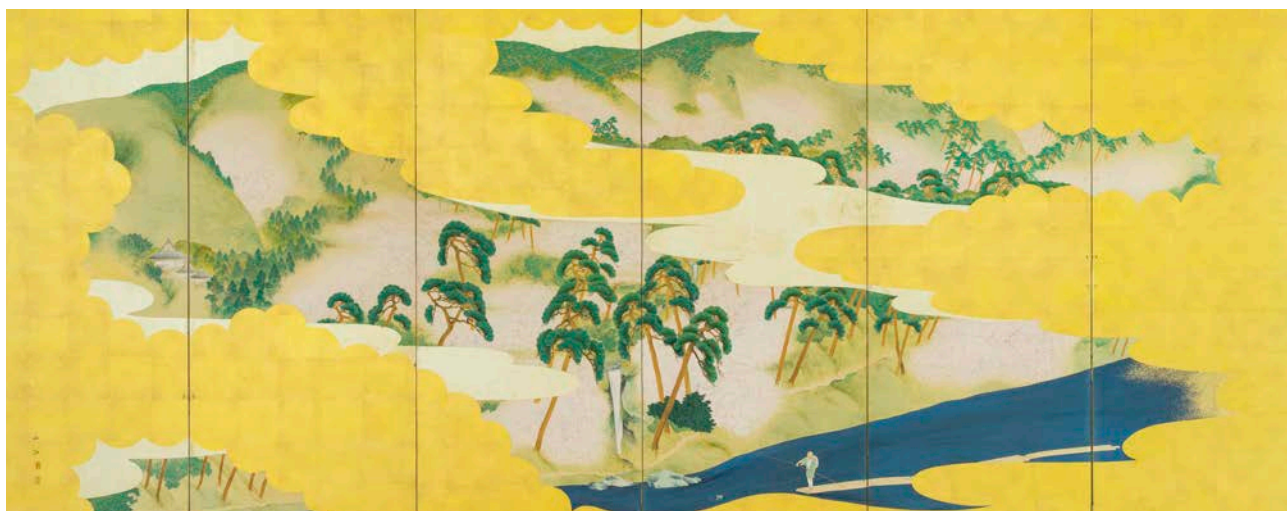
作品総数：87点／初公開作品：約30点

前期：10/24(土)－11/30(月)／作品数34点
後期：12/2(水)－1.11(月・祝)／作品数31点
(通期作品数22点)

第二会場／嵯峨嵐山文華館「忘却にも負けず」

若冲が牽引する形で続いている日本画ブームですが、多くの才能のある画家が時の流れに埋没しているのが実情です。

第2会場の嵯峨嵐山文華館では、第一会場同様人生の悲劇に見舞われた岸田劉生ら近代画家の作品に加え、かつては高く評価されていたにも関わらず、現在一般的にはあまり知られていないという悲運に見舞われた画家たちにフォーカス。岸駒(1749もしくは1756-1839)や、五姓田芳柳(1827-1892)、山元春挙(1872-1933)など、個性溢れる画家の秀作をご紹介します。あなただけの知られざる「押し画家」を見つけてみませんか。



矢野夜潮「高雄秋景・嵐山春景図屏風」左隻



山元春挙「成道出山之図」



木村武山「天女散華」

展覧会担当学芸員：阿部垂紀・國永裕子・岡田秀之

作品総数：約50点／初公開作品：約20点

前期：10/24（土）－11/30（月）／作品数20点

後期：12/2（水）－1.11（月・祝）／作品数14点

(通期作品数12点)

プレス用画像一覧

01._尾竹國観「文姫帰漢」_左隻
福田美術館_通期



02._尾竹國観「文姫帰漢」_右隻
福田美術館_通期



03._小林清親「久松町の大火図」
福田美術館_通期



04._木島櫻谷「秋思」 05._速水御舟「露潤」
福田美術館_前期 福田美術館_後期



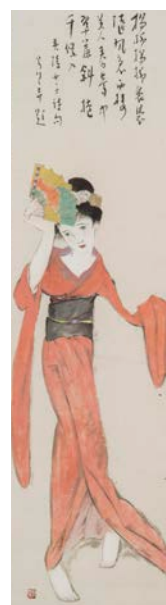
06._上村松園
「軽女悲離別之図」
福田美術館_後期



07._上村松園「静御前」
福田美術館_前期



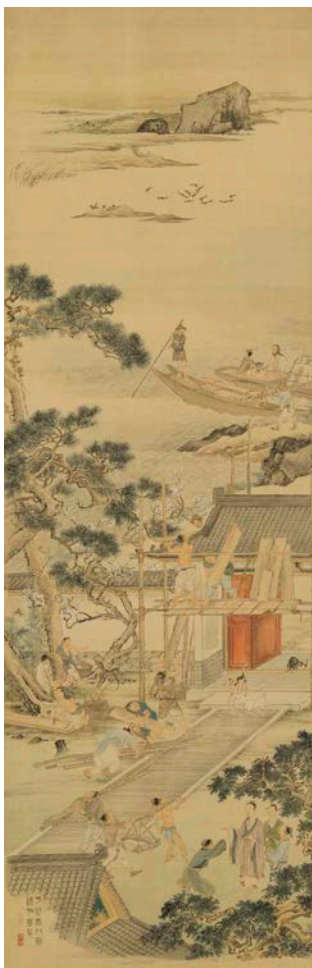
08._西村五雲「明けやすき頃」
福田美術館_前期



09._竹久夢二
「紅衣扇舞」
福田美術館_前期

プレス用画像一覧

10. 渡辺崋山
「于公高門図」(重文)
福田美術館_後期



11. 長沢芦雪
「薬玉図」
福田美術館_前期



12. 矢野夜潮「高雄秋景・嵐山春景図屏風」
(右隻) 嵯峨嵐山文華館_通期



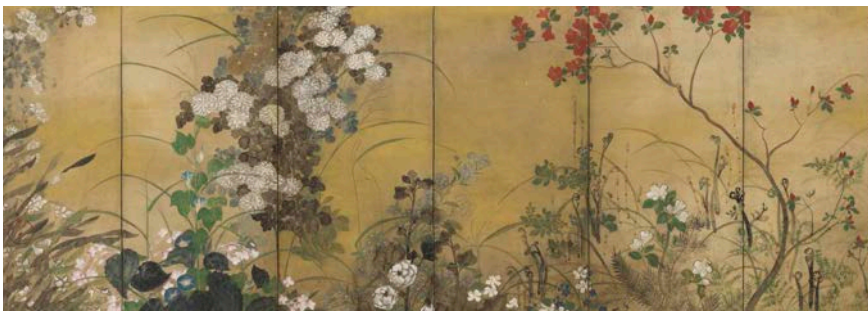
13. 矢野夜潮「高雄秋景・嵐山春景図屏風」
(左隻) 嵯峨嵐山文華館_通期



14. 竹久夢二
「青春譜」
福田美術館_後期



15. 深江芦舟「四季草花図屏風」(重文)
福田美術館_前期



17. モーリス・ユトリロ
「ヴェジネのセント・ポーリーヌ教会」
福田美術館_通期



16. 速水御舟
「デッドシティー
(阿蘭陀所見)」
福田美術館_通期

プレス用画像一覧

18._木村武山「天女散華」
嵯峨嵐山文華館_前期



19._山元春挙「成道出山之図」
嵯峨嵐山文華館_後期



20._山内信一「春光」
嵯峨嵐山文華館_前期

福田美術館について

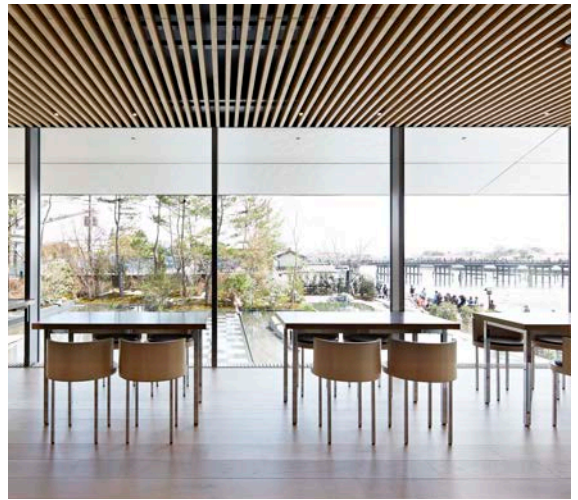
美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として

美術館の建つ京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきました。

福田美術館は、「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へと繋ぐ美術館を目指します。

オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しをしたいという思いから、2019年10月、美術館の設立に至りました。

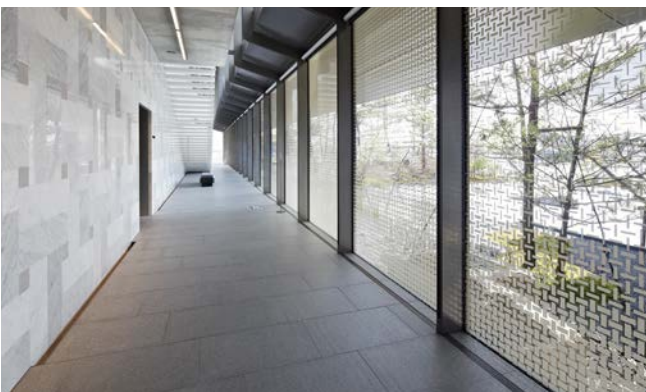
今や日本国内だけでなく、世界中から多くの人々が訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は1000年変わらず人々を魅了する。この美しい自然とともに日本美術の名品を愉しむことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願います。



嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形

福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏は、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指しました。

また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わうことができます。



嵯峨嵐山文華館について

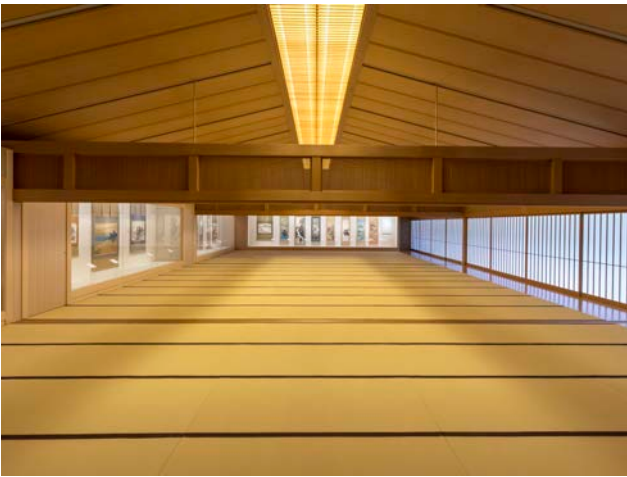
百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から、歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。

石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入れると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。

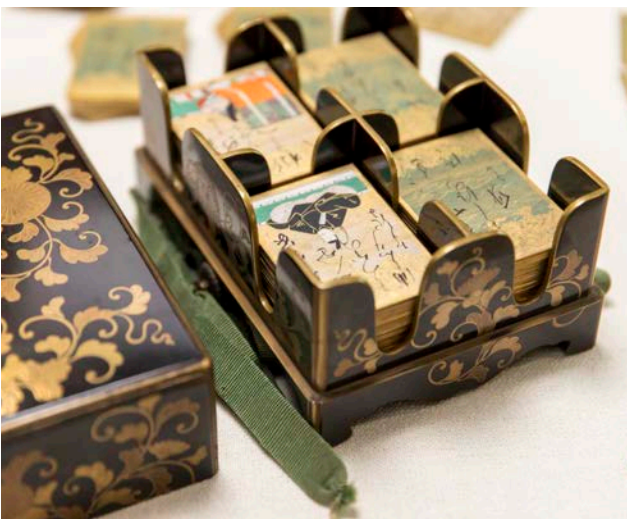
百人一首ゆかりの小倉山を背にし、古来より著名な景勝地であった嵐山・大堰川を借景として取り込んだ、二階からの眺めはまさに日本画の世界のようです。

美しい自然とともに、誰もが日本の美を身近に感じ楽しめるよう、シーズン毎に心ときめく企画展と知的好奇心を満たすイベントをお届けいたします。



1F常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と百人一首の英訳が並び、藤原定家によって百人一首が選ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介します。

また2Fには120畳の広々とした畳ギャラリーは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望む明るいテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ろぎいただけます。



福田美術館概要

- 名称：福田美術館／Fukuda Art Museum
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16
- 電話番号：075-863-0606（FAX）075-863-0607
- メールアドレス：info@fukuda-art-museum.jp
- ホームページ：<https://fukuda-art-museum.jp>



- 敷地面積：1982㎡
- 延床面積：1193.58㎡
 - ・展示室1／151.2㎡
 - ・展示室2／175.4㎡
 - ・展示室3／64.5㎡
- 交通アクセス：
 - ・JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩12分
 - ・阪急嵐山線「嵐山」駅下車、徒歩11分
 - ・嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩4分



嵯峨嵐山文華館概要

- 名称：嵯峨嵐山文華館／Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11
- 電話番号：075-882-1111（FAX）075-882-1103
- メールアドレス：support@samac.jp
- ホームページ：<http://www.samac.jp>



- 運営：公益財団法人小倉百人一首文化財団
- 交通アクセス：
 - ・JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩14分
 - ・阪急嵐山線「嵐山」駅下車、徒歩13分
 - ・嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩5分
- 設立：
 - 2006年 「百人一首殿堂 時雨殿」として設立
 - 2011年 一時休館
 - 2012年 リニューアルオープン
 - 2017年 一時休館
 - 2018年 11月1日 「嵯峨嵐山文華館」としてリニューアルオープン

本展に関するお問い合わせ

福田美術館 広報事務局（ウインダム内）

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email fukudamuseum@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F

「福田美術館」広報事務局

担当：沼澤、多田